

地域のたから東西線編

沿線ぶらり散歩



第5回
卸町駅

仙台市博物館 学芸普及室長 菅野正道

「第一次産業から第三次産業の拠点へ」

仙台流通センター

卸町一帯は、「仙台流通センター地区」とも称され、政策的に卸売・流通部門を集積させた新しい「まち」です。

戦後の仙台市は、東北の中核都市としての発展を目指す中で、商工業の発展を進めようとした。工業については、仙台港周辺から塩竈に至る「仙塩地帯」に工場を集積し、仙台港を原材料や製品の輸送に用いる計画でした。一方、商業については、市街中心部の機能を強化する一方、卸売と流通の機能を集積した一大拠点を整備しようとしたのです。

こうした政策に基づいた都市計画が昭和四一年に国の認可を受け、建設中であった国道4号仙台バイパスの西に隣接する原町南目の水田地帯を「仙台流通センター地区」として開発することが決定したのでした。同時に並行的に市内の卸売業者も集団化の計画をたて、昭和四五年一〇月に卸売業者が集



卸町付近を流れる高砂堀

まった卸商団地が完成したのです。前後してその周辺にはトラック団地、倉庫団地、仙台市中央卸売市場が昭和五〇年までに次々に完成し、仙台流通センターは東北における卸売・流通に関する最大の中核管理機能を担う地区となったのです。

幻となった水田地帯

今はさまざまな会社の事務所や倉庫、商店やマンションが立ち並ぶ卸町一帯は、かつては一面の水田地帯でした。古い地図や航空写真を見ても、現在の宮城の萩大通り付近から東側にはほとんど人家もありませんでした。広大な水田の中を七郷堀の支流が枝分かれして流れ込み、毛細血管のように水を供給していたのです。

こうした七郷堀の支流は、仙台流通センターの開発が進む中で、灌漑用水としての役割を終えて埋め立てられました。今では、高砂地区の水田に水を供給する幹線水路となっている高砂堀が、卸町の北部を流れているのがほとんど唯一の名残となっています。

この高砂堀は、農閑期で堀に水を流さない時期でも、卸町付近では常にきれいな水が流れています。この付近がもともと湿湿地帯だったために、地中の浅い所に豊富な地下水があり、それがコンクリート護岸の隙間を通って高砂堀にしみだしているのです。



卸町の西に隣接する東宮城野小学校付近には、かつては清水田という地名があり、現在も公園の名前として残っています。ここもかつて水田が広がっていた時に、豊かな清水が湧き出していたものと思われれます。

現在、この付近は全て「**■**」**○**丁目」というような地名になっていますが、古い地名がこのように公園の名前として残ることがあります。清水田公園の五〇〇メートルほど南にある谷地館公園も、そうした例の一つです。「谷地館」という地名は、「谷地」すなわち湿地帯に中世の領主の館があったことに由来すると想定されます。鎌倉時代、武士たちは湿地帯で水田の開発を進め、その近くに居館を構えたことが各地で確認されています。この谷地館については、関連する古文書や記録はありませんが、湿地帯から水田へ開発された歴史を静かに物語っているのかもしれない。今は姿を消した湿地や水田は、実は形を変えて今でもその痕跡をとどめていたのです。

特別展 国立カイロ博物館所蔵

黄金のファラオと大ピラミッド展

エジプトの至宝、ファラオの「黄金のマスク」が仙台に登場。
吉村作治氏監修の特別展が好評開催中!

【観覧料】一般：1,500円、高校・大学生：1,200円、小・中学生：800円

●展示解説(申込不要・聴講無料)●

当館学芸員が、特別展の見どころを解説します。(会場：仙台市博物館ホール/定員：200名)
①5/11(水) 13:30~14:00 ②5/25(水) 13:30~14:00 ③6/8(水) 13:30~14:00

※会期中は会場内・駐車場ともに混雑が予想されます。ご来館の際は公共交通機関をご利用くださいようお願いいたします。

■主催：「黄金のファラオと大ピラミッド展」仙台展実行委員会(仙台市博物館、TBC東北放送、河北新報社) ■監修：吉村作治氏(東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授・工学博士) ■企画制作：TBSテレビ ■協力：国立カイロ博物館、エジプト・アラブ共和国考古省、学校法人昌平堂 東日本国際大学、NPO法人太陽の船復元研究所、日本エジプト学会、早稲田大学エジプト学研究所広報部、独立行政法人国際協力機構(JICA)、カタール航空、ルフトハンザ カーゴAG、日本通運 ■協賛：三井ホーム

4/22(金)

6/26(日)

アメンエムオパト王の黄金のマスク
第3中階期 第21王朝
(前993~984頃)
国立カイロ博物館蔵



TBC 黄金のファラオ 検索



ロイとマヤのピラミッド
新王国時代 第18王朝末(前1336~1295年頃)
国立カイロ博物館蔵

仙台市博物館
SENDAI CITY MUSEUM

開館時間：午前9時~午後4時45分(最終入館午後4時15分) ●5月の休館日：毎週月曜日(5/2は開館)

TEL:022-225-3074

〒980-0862仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

▶HP <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/> ▶ツイッター @sendai_shihaku